

# ファイナンシャル通信

2023年  
9月号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

## 特集 ① もしも、被災したときにやるべきこととは？

大災害が世界各地を襲っています。自分たちが住んでいる街も、いつ何が起こるかわかりません。今回は被災した時のお金について、まずやるべきことを確認していきましょう。

災害により建物に被害が生じた場合には、国の基準に基づき市区町村の職員などが被害調査を行います。「全壊」「大規模半壊」「半壊」など、被害の程度を証明するものが「罹災証明書」です。罹災証明書は、支援金や義援金などの支援を受ける場合に必要になります。

罹災証明書の申請は、その家屋の所有者、居住者及び委任を受けた代理人が、原則、被災後1カ月以内に市区町村に行く必要があります。被災の程度により支援内容が異なるため、判定結果に疑問があれば、再調査を依頼することもできます。罹災証明書の発行には時間がかかる場合もあります。被災者側の注意点としては、片付けや修理などを行う前に、しっかりと被害の記録を残しておくこと。

例えば、自宅が被災した場合には

- ・4方向、及び様々な角度から写真を撮る
- ・近景と遠景とを撮影する
- ・浸水した場合はメジャーをあて、全体と目盛り部分を撮影する

などの方法が考えられます。

もしものときには、ぜひ思い出してみてくださいね。



## ? マネークイズのコーナー

国民年金は20～60歳までの全ての人が入る年金制度です。では、40年間国民年金保険料を支払った場合、現在いくら年金を受給できるのでしょうか？

- 1 年額 705,000 円
- 2 年額 755,000 円
- 3 年額 795,000 円



(答えは次面にあります！)

## 今月のお知らせ

【幸運の数字!インジエルトパーとは⑧】

今回はインジエルトパーの話ではありませんが、お金持ちが金運アップのために集める【9Zの1万円札】です。

9Zの1万円札の出る確率は1000万おろしても2枚。つまり、1/500の確率。おクションでもそこそこの高値で取引されているようです。(ｽﾀｯﾌの豊島は種銭として保管しているそうです笑)

ちなみにインジエルトパー9の意味はお金の管理・使い方を見直す、だそうですよ！

## コラム 資産運用、早く始めれば負担少なく大きな資産を作れる！

積立投資とは、毎月一定額をコツコツと積み立てながら運用する方法です。早く始めて長期間続けることができれば、少ない積立額でも大きな資産を作ることができます。まさに「塵も積もれば山となる」わけです。では具体例を見てみましょう。

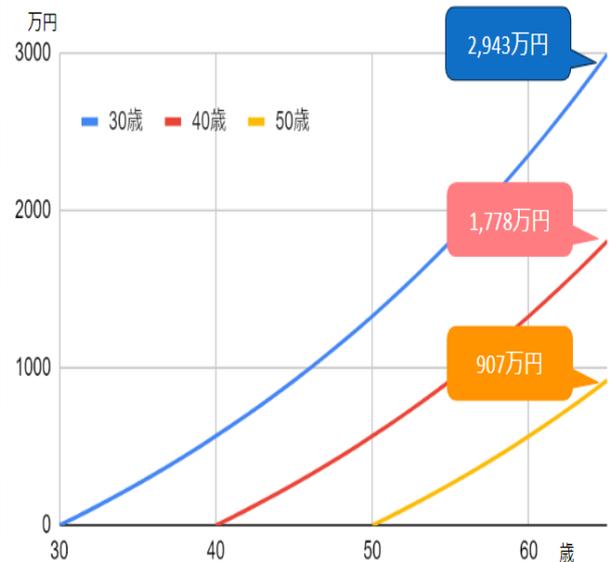
例えば、毎月4万円を利率3%で運用し65歳まで積み立てたとすると…？

- ・30歳からスタートした場合は、2,943万円（※年複利、非課税、以下同）
- ・40歳からスタートした場合は、1,778万円
- ・50歳からスタートした場合は、907万円

35年間積み立てた場合は約3,000万円の資産になり、15年間積み立てた場合は約900万円に留まります。

利率3%の運用で、65歳時に3,000万円の資産をつくるには、

- ・40歳からスタートした場合は、6.7万円
- ・50歳からスタートした場合は、13.2万円の積立額が必要です。やはり無理なく資産を作るには早く始めることが大切です。



## A マネークイズの答え

正解：3

20～60歳までの40年間すべての年金保険料を支払った場合、2023年度の国民年金（老齢基礎年金）受給額は年額795,000円（月額66,250円）です。

（※昭和31年4月1日以前に生まれた方は年額792,600円）



## 編集後記

スタッフの豊島です。コト禍もあって思うように出来なかった我が地元の『角館のお祭り』に4年ぶりに参加しました！

1年にその時期にしか会わない人達もいるので子供達の成長が半端なく誰が誰だかわからない(笑)

それに自分の体力のなさも痛感(泣)4年の歳月は大きいです…

私のお世話になっている【駅前】の曳山です。9月7・8・9日のお祭りで天候はよかったのですがとにかく暑かった…秋の祭りなのに(；^ω^)



発行

住まいとお金の相談センター・生活工房Life (ライフ)

〒013-0046 秋田県横手市神明町4-23

お問い合わせは **0182-33-5560** まで！

ホームページはこちら



スマホのカメラ  
で読み込んでね！

<http://www.lifeconsul.com>



代表：高橋 徹